



ふじた・あきこ

## 藤田 昭子 Akiko Fujita

国	籍	日本：東京都 生まれ
生	年	1933年
職	業	彫刻家

### 選評：梅原 猛

藤田昭子氏の造形作品は独創的であるといえる。氏は神の如き世界の創造者である。その作品は巨大であり、そこに多くの穴がある。穴はいったいどこへつながっているのか。またさまざまな迷路のような構造をもつ作品があるが、氏は迷路に自己の人生を重ね合わせたのであろうか。私はこのような作品に荘子の語る「混沌」を思い起こした。氏は愛知県常滑の天竺山で靈感を得たと語るが、その作品も陶芸の伝統のある常滑の地霊が生み出したものであろうか。そのような穴のあるさまざまな不思議な世界を氏は果てしなく作り続ける。

### 作家略歴

1933	東京都三鷹市に生まれる
1975	野外彫刻(野焼き)「天竺」(愛知県)
1976	野外彫刻(野焼き)「出縄」(神奈川県)
1978	第16回藤村記念歷程賞受賞
1981	第1回琵琶湖彫刻展入賞「波塔」(滋賀県)
1985	野外彫刻(野焼き)「大地の花」(ブラジル) 野外彫刻(野焼き)「みみずの家」(カナダ)
1985-89	カンピーナス大学美術学部教授 (ブラジル)
1986	野外彫刻(野焼き)「つばめの家」(ブラジル)
1988	個展「山脈シリーズ」(東京渋谷パルコギャラリー)
1989	野外彫刻(野焼き)「寄」(神奈川県)
1990	野外彫刻(野焼き)「フレーム・ツリー」(オーストラリア)
1992	野外彫刻(野焼き)「クオバディス」(ドイツ)
1993	野外彫刻(野焼き)「優曇波羅花」(リアスアーク美術館・宮城県)
1995	野外彫刻(野焼き)「フンダリカ」(インド)
1997	野外彫刻(野焼き)「原・集落」(新潟県長岡市国営越後丘陵公園)
1998	野外彫刻(野焼き)「ハマンジアの船」(ルーマニア)
1998-2004	女子美術大学大学院工芸科教授
1999	「開館30周年記念 森に生きるかたち」(箱根彫刻の森美術館・神奈川県)
2002	「森の精三人展」(野外彫刻) 「牀座シリーズ」(金津創作の森と金津創作の森ギャラリー・福井県)
2005	野外彫刻(野焼き)「富着原」戦没者慰霊の塔 (サキマ・アートレジデンス・沖縄県)
2005	個展「牀座」シリーズ (左喜眞美術館・沖縄県)
2011	個展「牀座・遊園シリーズ」(東京上野の森美術館ギャラリー)
現在	神奈川県平塚市にて子どもから大人までの造形教育を1956年より継続



「原・集落」 1997年  
長岡市 国営 越後丘陵公園  
400×1500×550cm  
陶



「フレーム・ツリー」 1990年  
オーストラリア 野焼きの中の炎  
600×600×220cm



「出縄」 1976年  
1500×600×1500cm  
陶

(撮影：中島 秀雄)